

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価の調査項目です)

取り組んでいきたい項目

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念をスタッフ全員が理解することに努めるとともに、具現化できるよう取り組んでいる。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念を玄関・各フロアーに掲示し、外来者の方々に對してお知らせして行くと共に、スタッフも常に確認できるようにしている。又、ミーティング・勉強会時に、実践に向けての取り組みを確認し、ケアに反映できるように努めている。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議・家族会を通じて、町内会長・民生委員・ご家族の方にホームの理念、活動を報告している。	○	ご家族や地域の交流を通じて、理念の浸透に努めたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ご近所の方にお会いする際は、入居者様、職員共に積極的にご挨拶、声掛け等を行っている。今後も気軽にホームに立ち寄って頂けるように努めていきたい。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	清掃などの地域活動に参加させて頂いている。今後も積極的に地域の方々との交流を持つことに努めたい		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現状は、ホーム利用に関しての問い合わせにとどまらず、福祉分野全般の相談に応じている。事業所の持つネットワークを活かして関係窓口につなげている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初回評価の為、ミーティングの中で「外部評価の意義と理解」を深める時間を設け、スタッフの周知を図っている。又、「全体目標」として項目を月ごとに設定し、取り組み状況を確認している。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議・家族会を通じて、町内会長、民生委員・家族の方にホームの理念、活動を報告している。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の研修には、積極的に参加し、担当者の方とお会いする機会を持つように努めている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部研修・内部研修を開催し、学ぶ機会をもっているが、まだ知識不足で出来ていない。状況に応じて専門機関に相談している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待誘因を含みそうなケアの場面が見られたら、その場で、振り返りを行い、防止の重要性認識できるよう、意識を高めると共に、理解を深める努力をしている。勉強会を通じて学習する時間を設けている。外部研修会にも参加している。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な時間をかけ、全ての読み合わせを行い、一項目ごとにご家族の納得、理解が得られるまで説明している。入居にともなうリスク要因や重度化した際の対応についても同意を得ている。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者、職員が、個別に接する時間を設けている。必要に応じて、ご家族や友人等、関係者に連絡を取ったり、また要望をケアプランに反映させていくように努力している。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	近況報告は面会時、又は電話で随時行っている。金銭管理については、現金出納帳のコピー・領収書と共にご家族に手渡し、郵送している。職員の異動は、その都度ご家族に報告している。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情・相談窓口を明記した内容を掲示すると共に、意見箱を玄関に設置している。契約時には上記の内容と共に行政の窓口も説明している。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体ミーティング・フロアミーティングを実施すると共に、随時個人面談を行い、スタッフの意見を聞く機会を設けている。現状を共有する中で、意見や提案を聞き、ホーム運営に取り入れている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者は、入居者様の状態に応じた対応が柔軟に取れるような体制づくりに努めている。24時間オンコール体制をとり、夜間や緊急時も速やかに勤務調整が図れるように努めている。管理者が対応不可の日は、あらかじめ代行してくれる職員をたて、職員の混乱が生じないように努めている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	他のユニットからフォローする場面を作ることにより、入居者のストレス、ダメージが少なくなるように努めている。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	雇用の原則を順守している。就業規則に従い、採用後には一人ひとりの長所や経験を伸ばすことができるように配慮している。		
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	外部研修・内部研修を開催し、入居者様、ご家族、職員の人権を尊重すること念頭に置き取り組みをしている。		
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市主催の研修には、積極的に参加している。職員のスキルに応じた内容の研修があれば、今後も積極的に参加するように努めたい。内部研修の充実化を図れるよう、委員会を設置し取り組みをしている。月1回のホーム内研修を定例化して実施している。		
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「福岡県グループホーム協議会」・「ホスピス緩和ケア・ネットワーク福岡」の勉強会等にて外部との交流を図っている。		
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	上司・管理者と話す機会はあるが、ストレス等の緩和、解決には結びついていない。	○	定期的に上司・管理者と十分に話ができる機会を増やしたい。
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	日々の中で、会話をする機会をもつ努力をし、意欲向上を喚起したり、研修参加の促しや啓発を行っている。また、人事考課を設け、個人個人のスキルアップに取り組んでいる。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人のお話を十分傾聴できるよう個別ケアに努めています。また安心して過ごしていただけるよう話しやすい雰囲気作りを心掛けています。		
26	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族が困っている事や不安な気持ちを受け止め、ご要望も受け止めながらホームとしてできる事ご家族に助けて頂きたい事を十分話し合いお互いの理解を深められるよう努めています。		
27	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームの入居にこだわらず相談があった際は他のサービスも含め状況に応じた助言援助を行うよう心掛けています。		
28	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人を含めた家族に見学をしていただくことから始めています。できれば短時間でもご本人様に体験して頂くことを勧めています。ご家族とも十分な相談を行いスムーズな利用を心掛けています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人の自主性を尊重し共に助け合い皆で小さな喜びを積み重ねる事を大切にしながら過ごしています。お手伝いをお願いしたりわからない事を皆で考えながら支えあえるよう努めています。		
30	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご本人をともに支えあう仲間としてホームで出来る事ご家族にしか出来ない事を理解して頂きお互い協力しながらご本人様が少しでも良い状態を保てるよう努めています。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族が訪問時には現状報告を行いまた季節ごとの行事や家族会に参加を呼びかける事などでご家族の交流が途切れないように努めています。また直接はなかなか言えない感謝の気持ちや思いを伝えることでより良い関係づくりが出来るよう努めています。		
32	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで馴染みだった方がいらしたらこれからも来ていただけるよう関係の継続をお願いしています。またご家族にも周りの方への声かけをお願いしています。		
33	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が支えあったり関わりあったりできるよう場の提供を心掛けています。		
34	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	まだ契約が終了された方はいませんが今後であれば行事の案内をお出ししたり気軽に遊びに来ていただけるよう声かけを行いたいと思います。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話から聞き取りを行い思いをくみ取れるよう努めています。また意思疎通が困難な方は少しでも笑顔や言葉がみられる機会が増えるよう心掛けています。		
36	○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様にうかがったりご家族知人の訪問時にうかがう等して少しずつ把握に努めています。		
37	○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	記録や申し送りミーティング等を活用した看護師や主治医とも相談しながら総合的に把握するよう努めています。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ミーティングやケアカンファ等で意見交換を行いよりよいケアの在り方を模索しています。		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しを行っています。また状態が変化した場合は関係者と話し合いを行い検討見直しに努めています。		
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	十分ではないが記録するよう努めています。さらに特に注意すべきことは申し送り等で口頭でも送り情報の共有に努めています。またスタッフ間のコミュニケーションを密にし状況に応じて介護計画が見直せるよう努めています。		内部研修等で記録の書き方を学び記録によるさらなる情報の共有や活用を図りたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人家族の状況に応じて通院同行等の支援に柔軟に対応しひとりひとりの満足を高められるよう努力しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ご本人様が安心して暮らせるよう民生員やボランティア町内会の方消防等にも協力をお願いしています。また近隣の図書館から本を借りて読書を楽しんでいます。		開所から間もない事また新型インフルエンザの影響等もあり十分な協力体制が取れていません。今後はすこしづつ支援の輪をひろげて行きたいと思います。
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意思や必要性に応じて薬剤師による居宅療養管理サービスを利用しています。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターに地域運営推進委員会に出席していただき情報提供や意見をお願いしています。今のところ権利擁護等の必要なかたはいらっしゃいませんが今後必要があればご相談に行きたいと思います。		
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望でかかりつけ医を決めて頂き適切な医療が受けられるよう支援しています。また以前からのかかりつけ医の継続が難しく協力医が引き継ぐ場合も医師間で情報交換を行っていただき適切な医療が受けられるよう努めています。		
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医やそれぞれの主治医に相談をおこなっています。それぞれの専門医や医師と相談のもと服薬治療を行ったり対処法を考え周辺症状を少なくできるよう努めています。		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員が週3回勤務し入居者の健康管理を行っています。また24時間連絡が取れる体制をとっています。		
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には本人の支援方法に関する情報を医療機関に提供しています。その上で医療機関から病状説明を受け情報交換に努めています。また地域の病院との連携のため説明会や講演会にはなるべく出席するよう心掛けています。		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期やみどりにむけて職員に研修の機会をもうけています。また入居者の状態が変わった時にはその都度主治医看護師ご家族職員等で話し合いの機会を持ち重度化や終末期の在り方を早い段階から話し合うよう心掛けています。		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期にむけて内部研修をおこなう予定にしています。またみどりのための外部研修を受ける機会を設けています。かかりつけ医や看護師家族職員がチームとして動けるよう早い段階から話し合いの機会を設けるよう心掛けています。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	暮らしの継続性が損なわれる事がないよう情報交換をこころがけています。いままではありませんでしたが今後ホームから別の居室に移り住む際はご本人様のダメージを最小限にとどめるためきめ細かい連携を心掛けていきたいと思っています。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや対応に注意を払い思いやりと尊敬の気持ちを忘れないようしています。		
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	思った事を何でも言える関係作りに努めています。その中でご本人様が自己決定できる機会が増えるよう心掛けています。また意思表示が困難な方も表情を読み取り意思の確認に努めています。		
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	健康状態やご自分の生活リズムを壊さないよう注意しながらおひとりおひとりのペースですごしていただけるよう努めています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	なるべくご自分で洋服を選んで着ていただいています。またご希望に応じて訪問理容にきていただいたりいきつけの美容室にいかれおしゃれを楽しまれています。行事やお出かけの時にはご希望に応じてお化粧品のお手伝いをしています。		
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	回覧板でアンケートを取ったり献立づくりを手つだって頂き好みを取り入れられるよう努めています。また盛り付け配膳後片付け等を一緒に行っています。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、 好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日 常的に楽しめるよう支援している	たばこ等の嗜好品は職員の管理の下楽しんでいただいでいます。飲み物やおやつのご希望は食事に影響がでないよう 注意しながらなるべくご希望にそえるようしています。		
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひ とりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気 持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を使用し時間を見ながら声かけ誘導をおこ なっています。意思表示が困難な方はサインを見逃さないよ う努めています。		
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわ ずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせ て、入浴を楽しめるように支援している	ある程度日程を決めています。体調や気持ちを優先して声 かけを行っています。		
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に 応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう 支援している	なるべく日中の活動を促し生活リズムを整えることで安眠でき るよう努めています。また日中疲れ等が見られるときはお昼 寝等をすすめています		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、 一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽 しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれの生活歴を生かした役割を持てるよう支援につとめ ています。また季節ごとの行事や外に出る機会を作り楽しみ をもって頂けるよう努めています。		
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理 解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお小遣いを預かり外出の際などに持参し使えるよ うしています。少額のお小遣いをご自分で所持していらっ しゃる方もいらっしゃいます。		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのそ の日の希望にそって、戸外に出かけられるよう 支援している	今はインフルエンザの流行でお出かけを自粛していますが 以前はご本人様の希望にそって買い物や散歩に出かけるこ とが出来よう努めていました。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族にご本人様の希望を伝え連れて行っていただいたり他の入居者と一緒に行きたい場所を調整して出かける機会をつくれるよう心掛けています。		
65	○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご希望に応じてハガキの購入や投函のお手伝い電話の貸し出し等の支援をおこなっています。		
66	○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	朝や仕事帰りでも寄って頂けるよう声かけをしています。気軽にきていただけるようまた来られた時にゆっくり過ごしていただけるよう雰囲気作りに努めています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○ 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングや申し送りまた日々のケアのなかで身体拘束に当たらないかお互い注意し合っています。また内部研修でも身体拘束の勉強会を開き知識を深めれるよう努めています。		
68	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関のカギをかけていません。皆が自由に出入りできるようにしています。		
69	○ 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	全員の所在や様子を把握できるよう努めています。長い時間お部屋にいらっしゃる方には声かけや様子をうかがうため訪室しています。夜間も定期的に訪室し状態の把握をしています。		
70	○ 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	おひとりおひとりの心身の状態にあわせて危険が無いよう努めています。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	内部研修等で知識を学ぶと共にヒヤリハットを活用したり職員の気づきの記録や申し送りによって共通認識を図っています。事故が発生した時は改善策を練り事故防止に取り組んでいます。		
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	内部研修等で看護師も交え応急手当や初期対応の仕方を学んでいます。		来年度には職員が救命講習を受ける機会を設けたいと思います
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルに基づいて入居者も参加し消防訓練をおこなっています。開所から間もないため地域との協力体制は十分ではありませんが少しずつ声かけを行っています。		近隣にもホームの様子を知って頂けるよう努めたいと思います。またできれば訓練等にも参加していただけるよう声かけを行いたいと思います。
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時に全員に起こりうるリスクの説明を行っています。またおひとりおひとりの状態から起こりうるリスクは個別にご家族に説明をおこなうよう努めています。その上で抑圧感のないご本人様の意思を尊重した暮らしができるよう努めています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックをおこない体調や異変の発見に努めています。異変に気づいた時は速やかに看護師や医師に連絡を取り指示を仰いでいます。		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を使用し量の確認を行っています。また新しい薬が出た時は記録に残しさらに申し送り等で注意を促すよう努めています。		
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分や乳製品野菜等の摂取の声かけを行っています。またなるべく体を動かして頂けるよう努めています。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後声かけを行い口腔ケアを行っていただいています。ご自分で出来ない方は職員が介助を行っています。		
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人別の記録を取り職員が摂取量を確認できるようしています。またご本人様の意思を尊重しながら摂取量の少ない方には声かけ等を行い少しでも増やせるよう努めています。		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防感染マニュアルを作成し予防対策に努めています。インフルエンザはご家族の同意のもと職員を含め全員が予防接種を受けています。		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具はチェック表を作成し衛生管理に努めています。またために買い物に行き新鮮な食材を使用するよう心掛けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花や絵をかざり明るい雰囲気になるよう心掛けています。		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感をとり入れ居心地良く過ごせるよう心掛けています。また建物内は温度差が少ない構造になっており快適に過ごせるようになっています。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	だいたい席はご自分で決めていらっしゃいますがレクリエーションやその時に応じて好きな席にすわられて思い思いに過ごされています。		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や物をなるべく持ち込んで頂けるようお願いしています。		
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	24時間換気システムをとり入れ常に空気のだよみがないう状態です。また全面断熱材や2重サッシを使用しているため温度差が少なく快適にすごせています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり等を活用して少しでも自立した生活ができるよう努めています。トイレは大きく表示しわかりやすくしています。		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ひとりひとりの意思を尊重しながら状態にあわせて失敗や混乱をすくなくできるよう声かけや支援に努めています。		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ウッドデッキに椅子やテーブルを用意し気候の良い時は日向ぼっこを楽しみながら過ごせるようしています。また庭に野菜や花を植え土に親しめるよう努めています。		

番号	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する番号欄に○印をつけること)	
・サービスの成果に関する項目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が
		○	利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

番号	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する番号欄に○印をつけること)	
		↓	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
		○	たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
		○	少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、活き活きと働けている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
		○	利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない